

【別紙 1】

第 9 号様式(第 7 条関係)

政務活動費収支報告書

令和 6 年 3 月 3 1 日

神崎市議会議長 田原 和幸 様

住所又は所在地団体の名称

神明会

議員氏名又は経理責任者氏名

野副 芳昭



令和 5 年 4 月 3 日付、神崎市議会第 1 4 号で交付決定を受けた政務活動費の収支報告書を神崎市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第 7 条に基づき、別紙のとおり提出します。

添付書類

- (1) 事業成績書
- (2) 収支決算書
- (3) 領収証書
- (4) 領収証書を徴することが困難な場合は会派代表者又は議員の支払証明書
- (5) その他 ()



事業成績書（令和5年度）

政務活動 実施内容	（実施した政務活動の概要） ・岡山県矢掛町にて行政視察 ・市町村議会特別セミナー ・新聞、専門誌購読
成果	（実施した活動による成果） ・岡山県矢掛町では、古民家再生や町並み景観整備事業及び、観光による地域活性化等の取り組みによるプロジェクト始動までの経緯や整備費用と事業概要や市民の反響まで細かく研修ができ、本市において今後の事業を行うことで活用することが出来ることを学んだ。 ・市町村議会特別セミナーでは、地方議会におけるハラスメント対策や超高齢、人口減少社会での自治経営及び地域活性化、歴史から学ぶリーダーシップ等を研修し、本市における課題や問題点に関する対策において学ぶことが出来た。 ・資料購読により専門的な知識が理解でき、本市に必要な対策に役立たせるよう活用する。

【別紙3】

政務活動費収支決算書

(令和5年度)

1 収入

単位：円

科目	予算額	決算額	適用
政務活動費	1,300,000	1,300,000	
その他	0	35	預金利息
計	1,300,000	1,300,035	

2 支出

単位：円

科目	予算額	決算額	適用
調査研究費	60,000	46,203	
研修費	635,000	61,226	
会議費	5,000	0	
資料作成費	20,000	0	
資料購入費	230,000	212,842	
広報費	3,000	0	
事務費	347,000	292,300	
計	1,300,000	612,571	

政務活動費支出明細書

領収書 番号	支 出 年月日	内 容	支 出 先	支出金額							備考
				調査 研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	
合 計				46,203	61,226	0	0	212,842	0	292,300	
1	4月26日	4月17～18日:費用弁償 矢掛町:観光による地域活性化の取組み	会派議員:白石昌利	45,500							公共料金につき行程・ 費用弁償計算書を添付
2	4月26日	4月17～18日:お土産代 矢掛町:観光による地域活性化の取組み	会派議員:白石昌利	703							参加議員5名で按分 3516円÷5名×1名
3	10月13日	11月1日～2日 市町村議会議員特別セミナー研修負担金	公益財団法人 全国市町村研修財団		10,000						会派議員:野副芳昭
4	11月7日	11月1日～2日:費用弁償 市町村議会議員特別セミナー研修	会派議員:野副芳昭		51,226						公共料金につき行程・ 費用弁償計算書を添付 航空運賃のみ領収書有
5	3月30日	携帯電話通信料補助	会派議員:野副芳昭							60,000	R5.4～R6.3(12カ月分) 5,000円×12月分
6	3月30日	読売新聞購読料(R5.4～R6.3)	YC吉野ヶ里・三根町					40,800			会派議員:野副芳昭 分
7	3月30日	携帯電話通信料補助	会派議員:永沼 彰							60,000	R5.4～R6.3(12カ月分) 5,000円×12月分
8	3月30日	佐賀新聞購読料(R5.4～R6.3)	佐賀新聞千代田町販売店					40,200			会派議員:永沼 彰
9	3月30日	携帯電話通信料補助	会派議員:白石昌利							60,000	R5.4～R6.3(12カ月分) 5,000円×12月分
10	3月30日	佐賀新聞購読料(R5.4～R6.3)	佐賀新聞千代田町販売店					40,200			会派議員:白石昌利
11	3月30日	書籍購入「地方議会人」(R5.4～R6.3)	(株) 中央文化社					9,972			会派議員:白石昌利
12	3月30日	携帯電話通信料補助	会派議員:木原憲治							52,300	R5.4～R6.3(12カ月分) 5,000円×5月分 3,900円×7ヶ月分
13	3月30日	読売新聞購読料(R5.4～R6.3)	YC吉野ヶ里・三根町					40,800			会派議員:木原憲治
14	3月30日	聖教新聞購読料(R5.5～R5.7、R5.10、R6.1)	袈裟丸 公広					9,670			会派議員:木原憲治
15	3月30日	携帯電話通信料補助	会派議員:田原和幸							60,000	R5.4～R6.3(12カ月分)
16	3月31日	日経新聞購読料(R5.4～R5.10)	佐賀新聞神埼販売店					31,200			会派議員:田原和幸

(別紙)

政務活動（調査研究・研修）結果報告書

会派名： 神明会

議員名： 白石 昌利

用務地： 岡山県 小田郡 矢掛町

期 日： 令和 5年 4月17日～ 4月18日

目 的： 空き家等の古民家をリノベーションしての
「まちなか観光の拠点づくり」の調査・研究。

所 感

令和 5年 4月17日：重要伝統的建造物群保存地区（矢掛宿）現地視察

矢掛町矢掛宿重要伝統的建造物群保存地区

選定日：令和 2年12月23日

選定基準：伝統的建造物及び地割がよく旧態をとどめているもの。

主な視察施設：旧矢掛本陣石井家住宅、脇本陣高草家住宅、道の駅『山陽道やかげ宿』等。

白石所感：①伝統的建造物の維持管理には地域に暮らす住民の理解が重要。

②民家（鬼瓦、本瓦葺き、なまこ壁、虫籠窓、うなぎの寝床、地割等）の
保存地区の伝統的建築物の保存と整備には行政の支援は不可欠。

令和 5年 4月18日：地域活性化の取り組みについて

岡山県矢掛町庁舎（産業観光課、建設課、議会事務局）

1) 街並み景観整備事業の取組み内容

第一期（平成5～9年度） 35件 補助金額1億円。

第二期（平成14～19年度） 37件 補助金額約6千万円。

矢掛町官民連携無電柱化支援事業：平成30年～令和 2年度 事業区間970m

矢掛町小田川（嵐山）かわまちづくり事業

白石所感：街並み景観事業には多額の事業費及び長期の整備期間が必要となる。

よって、この事業計画は慎重を要し、地域住民とのビジョン協議と理解も必要。

又、事業費が市財政を圧迫しないように、国・県との連携が重要となる。

2) 古民家再生事業の取組み内容 3) 観光による地域活性化の取組み

やかげ町家交流館：事業費約1億6千万円。

矢掛屋本館及び温浴別館：事業費約5億7千万円。

財源内訳：社会資本整備総合交付金：約1億2千万円。

過疎対策事業債 約5億9千万円。町費負担 約2千万円。

白石所感：古民家再生事業では、様々な古民家に併せて道の駅やビジターセンターの
整備事業も実施。観光客受入環境整備の取り組みは十分な計画性を感じた。

神明会研修報告書

令和5年11月20日

神明会 野副 芳昭

市町村議会議員特別セミナー参加の報告書

1 研修名

市町村議会議員特別セミナー

2 日時

令和5年11月1日～2日（2日間）

3 会場

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）

4 対象

市町村議会議員

5 主催

（公益財団法人）全国市町村研修財団

6 講師

上智大学法学部教授 三浦 まり 氏

一橋大学法学研究科教授 辻 琢也 氏

えちごトキめき鉄道株式会社代表取締役社長 鳥塚 亮 氏

歴史作家 多摩大学客員教授 河合 敦 氏

7 内容

<1日目>

・「地方議会におけるハラスメント対策をどう進めるか」（三浦講師）

・「超高齢・人口減少社会における自治経営」（辻講師）

<2日目>

「ローカル鉄道を上手に使って地域活性化」（鳥塚講師）

・「歴史から学ぶリーダーシップ」（河合講師）

8 感想

- ① 現在、女性議員は全国的に多くなっているが、まだ全体の2割程度である。各市町においてハラスメント条例も広がりつつあり、その実態を見るとハラスメントは女性議員の妨げになっているという見方も出ている。女性に限らず男性におけるハラスメントもある。特に新人議員に対するものが多く、それが原因で萎縮し自信を失い不信感を抱きやめるものまで出てくる。そのような中でハラスメントに気づく難しさも出てくる。加害者や被害者が出てこない議会環境をつくり、誰もが安心して議会活動に参加できる政治の場を考えることが必要である。
- ② 財政の中身が過去、現代、未来へと移り行く過程において地方で何ができるか考える機会になった。GDP(国内総生産)の変化を公的部門と民間部門に分け、民間活力、税収の変化、社会保障の拡大に対する考え方、公的人件費の推移、市町村数の変遷による財政状況、定年引上げによる働き方改革、今後におけるデジタル化の重要性と自治体の方向性、人口対策の考え方と世界の環境問題など、ありとあらゆるものが関係し、現代社会の成り立ち、将来の方向性を考え、整えていくことの重要性が理解できた。それを地方でどう生かし、対策していくのか問われている。
- ③ 国鉄時代は在来線も日常生活の足であり便利であったが、国鉄からJRになって人や物の移送が多様化し、課題や問題点が発生した。ローカル線存続のため、いずみ鉄道対策委員会をつくり、車内でのイベントや駅の清掃活動を行い、乗車率を上げる工夫をしてきた。地域鉄道を盛り上げるために、30年かかってダメだったらやり方を変えることで交通機関の役割を見直し、人や物の輸送が発達すると地元が栄えることを基本に、地元が有名になるためにはどうしたらいいか、何が必要かを考え、看板や広告の必要性でいずみ鉄道を広告塔にすることになった。駅にかかしを置いて地元以外の人が集まるようになり、地元の魚市場で朝市を開催するとテレビ会社が聞きつけてくる。それが世間に知れ渡るようになる。地元の神社を活用し駅の知名度も上がるなど様々な工夫を凝らし、地元へ、人、物、経済を還元し、地域に感謝できるようになる。新しいものを作るのではなく、今あるものを生かして観光客を呼ぶ工夫をすることが大切である。観光鉄道にするには、観光は遊びではなく勉強であるということを知り、都会の人が好むか、好まないかを知ることが必要である。ローカル列車の中で、イセエビ列車、フランス料理(日曜限定)、お刺身料理(土曜限定)、懐石列車などいろんな工夫がなされていた。
- ④ 徳川家康から始まり岩崎弥太郎の業績や名を遺した人の性格や考え方を知りリーダーシップの在り方、大政奉還による新しい日本の誕生や人としての在り方を学ぶことができた。徳川家康「妥協しないタフさ」、羽柴秀吉「勇気をもって決断する」「権力を持つと独裁者になる」「タイミングは逃すな。勇気をもってチャンスを生かせ」「得意技で勝負」本田忠勝「良い家臣を選べ(YES、MANではない)」「家臣の意見を聞く」「己一個の我を立てない」「上に立つものは国を守り、民百姓を安心させるために存在する」勝海舟「青年を指導するときは相手が卑屈にならないように自尊心を持たせて指導する」坂本龍馬「人を引き付けたのは魅力的だから」「相手の話を黙って聞き、否とも応ともいわずさんざん人にしゃべらせておいた。聞き上手だった」人は皆自分の話を聞いてもらいたい。岩崎弥太郎「三国志」に感化。万事塞翁が馬。後に三菱重工を作っている。名を残した人は、信念を持ち、相手を思いやり、判断して実行する強い意志を持つには相手の話をよく聞くことなど歴史から学ぶことができ勇気と力をいただいた。